

リユースforきつず 最終報告書



sopa.jp

想いをつむぎ、社会をつくる

取り組み概要

活動実績

課題

今後の展開案

リユースで、こどもたちにやさしい未来を

リユースforきっずは、
「サステナブルな環境づくり」に貢献しながら、
こどもたちの「モノを大切に作る気持ち」を育てていくことを
めざす新しいかたちの社会貢献事業です。

行政、企業、NPO、そして、地域の方々の力で誕生した
この活動は多くの皆さんの協力なくしては持続することはできません。

ぜひごいっしょに、ごみを減らして、
こどもたちの笑顔を増やしていきましょう！

リユースforきっず代表
NPO法人sopa.jp理事長

小田るい



リユースforきつずの仕組み：全体像

企業で不要になったP Cや、個人でいらなくなった本を寄付し、子ども達にP C・タブレットをプレゼント。“モノを大切にする気持ち”や“I C Tを使ったコミュニケーション”を楽しく学べるプログラム機会を同時に提供します



いらなくなったPCで社会貢献する



いらなくなった本で社会貢献する

ICT教育



環境教育

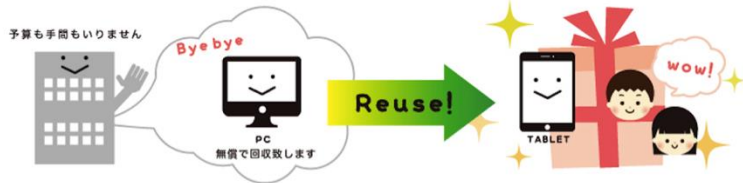


こどもたちに教育プログラムを贈る

リユースforきっずの仕組み：by PC で社会貢献

リユースforきっず by PC は、PCを10台以上寄付することで、子どもたちに教育プログラムを贈ることができます。50台以上寄付頂いた場合は、プログラムを要望にあわせ企画することも可能です。

リユース for きっずby PC で社会貢献する



リユースパートナー



ポイント 1

予算も手間もかけずに、こども用プログラムの企画・実行をすることができる！

ポイント 2

プログラムの企画は柔軟に対応可能！

例えば…

- 社内で活用！従業員の家族向けイベントとして開催できる！
- 御社 CSR のこども向けプログラムとして活用できる！
- つきあいのある学校や施設などへプログラムを贈ることができる！

ポイント 3

情報セキュリティ対策万全！

不要 PC は何年前のものでも大丈夫！

「株式会社パシフィックネット」（中古 OA 機器買取および販売）が不要PCの回収・データ消去を万全のセキュリティ体制で行うので安心！リユースできないものは素材としてリサイクル。

リユースforきっずの仕組み：by BOOKで社会貢献

リユースforきっず by BOOKは、いらない本5冊以上から寄付することで、子どもたちにプログラムを贈ることができます。電話1本でご自宅まで本を回収に伺い、買取金額を全額寄付することができます。

リユース for きっずby BOOK で社会貢献する



5冊から自宅まで回収に伺います

ポイント 1

5冊以上あれば、こどもたちへ支援ができる！
寄付いただく本は、こども向けに限らずどんな本でもOK!

ポイント 2

電話1本でご自宅まで回収！DVDでもOK!
寄付できる本（DVD）が5冊以上あれば、ご自宅まで回収！
（株式会社バリューブックス「チャリボン」TEL：0120-826-295）

ポイント 3

買取金額は全額寄付！ 寄付金額は10日以内にご連絡。
寄付いただいた本の買取金額は、全額寄付金として活用。
寄付金額は集荷後10日以内にメールまたは書面にてご連絡。
寄付を受けたこどもたちの様子は当HP（活動実績）をご覧ください！！

リユースパートナー

VALUE BOOKS
whole sale books and recycle books company.

リユースforきっずの仕組み：子どもに教育プログラムを贈る

タブレットをただプレゼントするだけではなく、安全にたたく、そして何より楽しく使う方法を学びます。また、タブレットがご寄付（リユース）によって今ここにあることを伝えてながら教育プログラムを実践しています。

ICT教育



「動物ものまねクイズ！タブレットでクイズ番組をつくろう！」と題して、人とタブレットのコミュニケーションの違いを学ぶ。また、こどもたちが動画・写真を取り合い、個々の“よさ”について発見したりなど、タブレットを通したから分かる人とICTのコミュニケーションの取り方を学び、ICTとの良い付き合い方について考える機会をつくる。

環境教育



タブレットがパソコンをリユースしてできたものなので、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を学び、モノを大切にしていくことの大切さをワークショップを交えながら学ぶ。また、身の回りの環境や自然を感じながらタブレットで撮影。写真や動画で今までの振り返りや周りの人に“よさ”を広げる際に使用したりなどプログラムは多彩。

リユースforきつずの仕組み：教育プログラムの講師紹介

豊富な経験・実績のある講師が、子ども向けの環境教育・ICT教育を担当しています。



一般社団法人森の演出家協会代表

土屋 一昭（つちや かずあき）氏

東京都青梅市の御岳にある築150年の古民家を拠点に「森の演出家」の第一人者としての事業を開始。古き良き日本文化と自然体験をおこなうサービスを提供してきた。自然と共に生きる彼の姿は話題となり、現在はTVや雑誌などのメディア出演や大使館・自治体・学校現場などからの依頼で全国各地を飛び回っている。2013年より「森育」「食育」「人育」をテーマにした森の演出家事業の本格的な準備に入り、その動向に各界から注目を集めている。資格/自然観察指導員、森林セラピーソサエティガイド認定、上級救急救命、メディックファーストエイド、調理師免許、火おこしマイスター

<http://www.tokynomountain.jp/>



俳優・演出家

神山一郎（かみやま いちろう）氏

玉川大学文学部芸術学科演劇分野卒業。以降、舞台演出・出演を中心に活動。俳優のためのワークショップ「演技集団オムニプレゼンス」を8年前より主催。参加メンバーとともに数々の舞台、映像作品を製作し、それらの演出を手掛ける。社会福祉士の資格を持ち、障がい者、児童、高齢者向けの演技ワークショップも開催。

Art Of Communication～コミュニケーションをデザインする～

<http://artofgroup.wix.com/home>



環境教育指導者・情報教育指導者

松田 悠（まつだ はるか）氏

3年間、環境教育NPOで小中学校の環境学習をコーディネートし、企業や専門家と年間100回以上授業を行う。その後フリーに。現在は「環境」「教育」「地域活性」をテーマに、企業のCSRの環境学習をコーディネートしたり、環境学習教材の制作にも携わる。また青梅市と協働で「おうめこどもエコクラブ」を主宰。クラブ会員は約50名在籍しており、定期的にこどもが身近な自然・エコを学び考える機会をつくっている。工学部を卒業時に情報教育教員免許取得。環境同様に、情報教育の必要性を感じており、学校現場で活躍中。

<http://umekou.net/Ecoclub>

取り組み概要

活動実績

課題

今後の展開案

(参考) 助成期間中の実行計画

広報ツールと協賛企業開拓に力を入れ、実際に協賛先から回収し教育プログラム提供を行う一連の流れを実施する計画でした。

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
コンテンツ開発			コンテンツのブラッシュアップ					
						広報ツール作成		
協賛企業の開拓		協賛企業の開拓（営業に時間を要することが判明＆広報ツールが準備できず紹介ベースで営業）						
			不要PC回収（匿名条件でA社よりPC回収 ※PCネットさんご紹介）				継続営業（公開OK先）	
					活動報告書 テンプレート作成		活動報告書の作成	
支援先の開拓								
				タブレット提供 / プログラム提供 （PCネットさん自身の協賛）			A社＋αの協賛で実施	
					支援先の満足度確認済		買取・支援先定着の可視化	

サマリー

宝印刷様の協賛により教育プログラムの実施ができリユースforきっずのモデルを実現することができました。また、環境省の助成金により、コンテンツの充実化と、ウェブサイト、チラシ、ポスターなどの広報ツールが用意できました

宝印刷様協賛による 教育プログラムの実現



コンテンツの充実化 (環境教育/ICT教育)



広報ツールの用意



プロジェクトの実施・提案状況

提案先	概要	回収するもの	教育プログラム	ステータス
宝印刷	IR・CSR等の印刷を手がけており、環境や教育への意識が高く、PCネットさんの紹介もありスピーディに協賛頂けた	サーバー 30台 携帯30台	環境学習 「五感体験・体感！自然塾」	実施済
大手製造業A社	IT部門担当者の方が前向きに協力頂いたものの、会社名の公表をする場合に各部署への調整が必要なため、匿名を条件に30台寄付頂いた	ノートパソコン 300台	環境学習 「玩改ワークショップ」	進行中
専門学校B	担当者はリユースを推進したいが、上長が廃棄のままでよいと思っているため、『リユースforきっず』で専門学生にも貢献できるプログラムができればリユースが推進できると興味をもって頂いた	未定	ICT学習	提案中
行政関連団体C	昨年度に団体主催のイベントで教育プログラムを実施したことで実績を評価頂き、本年度では本や情報機器のリユース活動など更に一步踏み込んだ連携の形を検討して頂いている	未定	環境学習	提案中
サービス業D社	主力事業の付加価値強化の一環としてリユースforきっずにご興味を頂いた。運営する店舗での本のリユース、ネットワークを活かした協賛企業探しを積極的に行って頂いている	未定	ICT学習	提案中
地方自治体E	慢性的な財政難で環境教育やタブレット導入などの予算が削減されている状況のため、リユースforきっずにご興味を頂いている	未定	環境学習	提案中
大手通販小売業F社	既にリユースを行っているが社会貢献活動として、リユースforきっずにご興味を頂いている	未定		提案中

三川公園サニースクール「五感体験・体感！自然塾」 by 宝印刷 2016.2.6



青梅市ままにこっと：ファミリーで楽しめるmamaフェス
「玩改（がんかい）ワークショップ」 by 大手製造業 2016.3.6



当日参加OK!
2Fの
第1会議室で開催

ワークショップ

ワークショップ作家による
がんかい
玩改

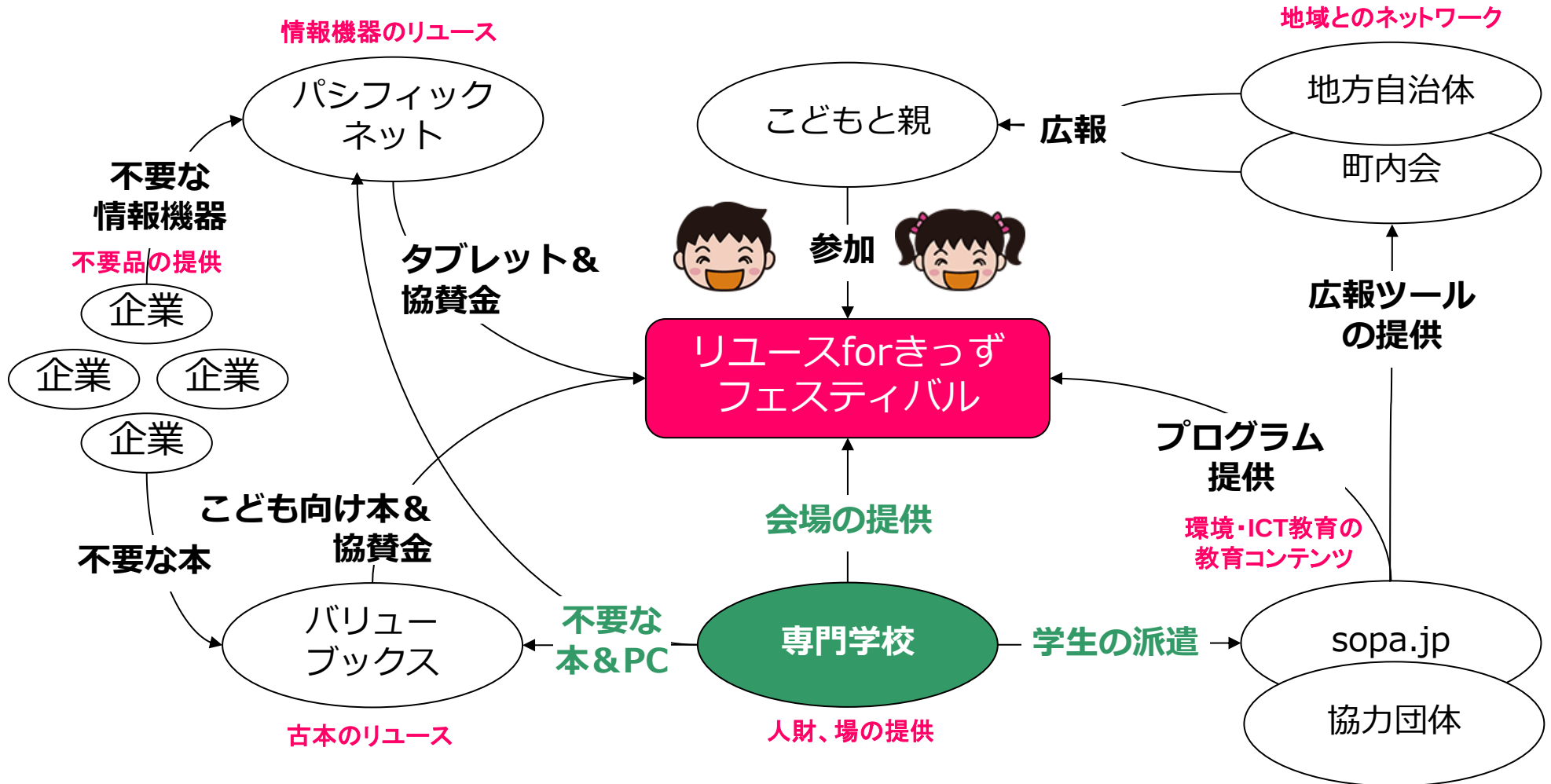
ワークショップ

おもちゃを改造して(玩改)
マイバックを作ろう!



専門学校様への提案スキーム：全体像

地元企業から募った不要なPCや古本をリユースする事で協賛金を集め、貴校の学生たちとNPOが共同で教育プログラムを企画し、町内会や行政などのネットワークを活かして、より多くの子どもたちが来て楽しめるようにします



ある専門学校様への提案スキーム：展開ステップ

まずは無理のない形で、企業協賛を集めキャンパスでイベントを開催し、徐々に学校関係者を巻き込みながらフェスティバルを実現していきます

場の提供を行い
まずはイベントを開催

校内行事の一環として
イベントを開催

学内の
公式行事化

概要

SOPAで主催するイベントをキャンパスにて開催する

地元企業や、貴校でリユース活動を推進しイベントを実施する

学校行事、教育活動の一環としてプロジェクトを公式行事化する

貴校の 行う事

- 場の提供

- 協力的な学部との連携
- 不要古本・PCの積極的な回収

- プロジェクト予算化

RFK 事務局 サポート

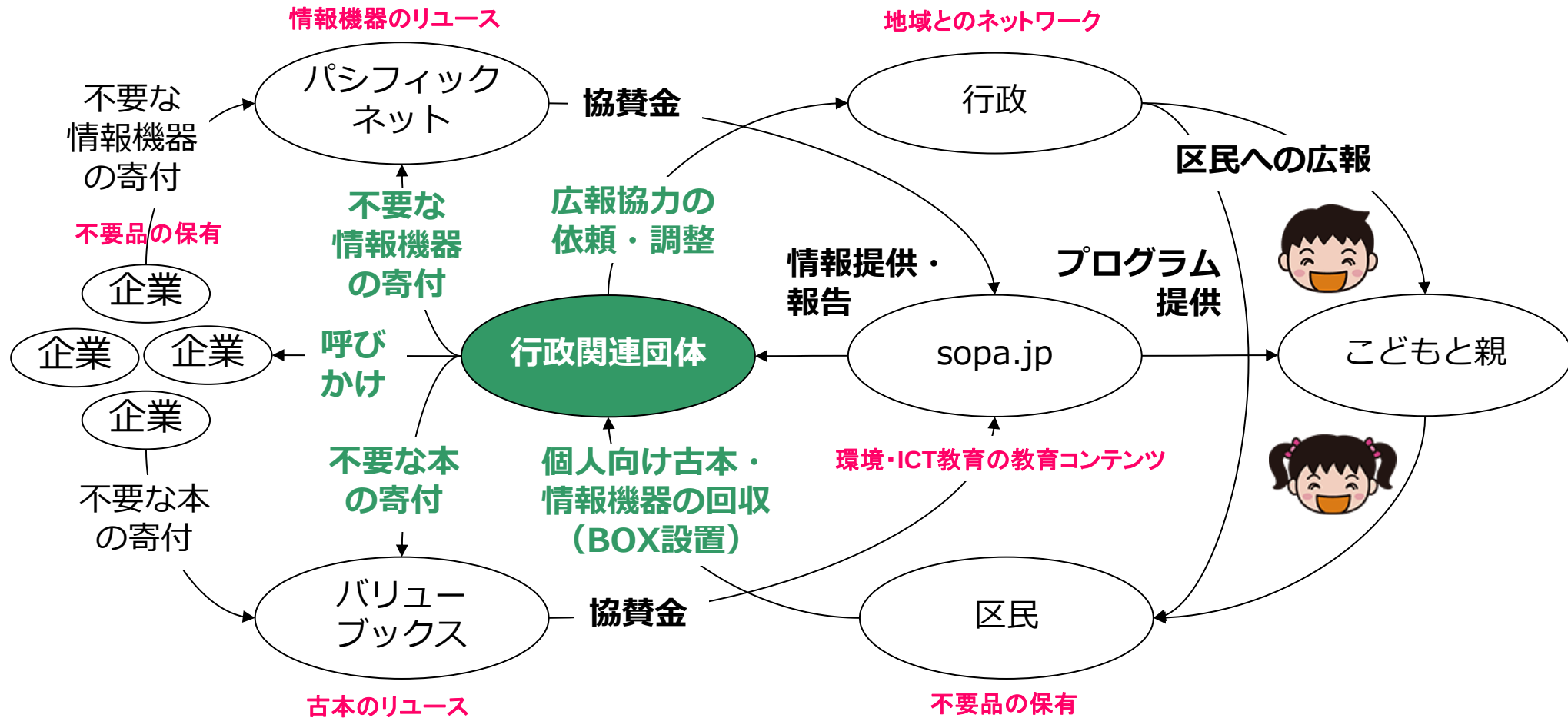
- 協賛企業の紹介
- タブレットや教育プログラム提供

- 学生スタッフの指導
- 行政・企業の巻き込み

- 事務局マネジメント
- 教育プログラムの企画・運営

行政関連団体様への提案スキーム

地元企業への呼びかけや個人向け回収BOXを設置頂くことで、個人や企業から不要なPC・古本を寄付頂き、子どもたちに教育プログラムを提供



アジェンダ

取り組み概要

活動実績

課題

今後の展開案

検討課題

• 協賛企業を増やす

- パシフィックネットさん経由の案件は今後も見込まれる
⇒宝印刷様や大手メーカー様のご紹介
- 新たなリレーション構築をどう築くか
 - ◆ 単なる広告を投入しても反応は薄い
⇒広告の実施。結果、反応ゼロ
 - ◆ 支援を希望する団体から紹介で広がる可能性は高い
⇒保育大手企業の方から問い合わせ中。先方取引先との連携の可能性も。
 - ◆ 地域内での協賛呼びかけに可能性あり
⇒専門学校様の地域貢献として地元企業・行政と連携して実施する案件
⇒行政の環境分野の担当者や外郭団体との連携

• 協賛金を安定的に確保する

- リユースforきつず by BOOKの活用
 - ◆ 企業内で社員に対して不要な本の寄付を募る
 - ◆ 支援先のリユース活動の一環として不要な本の寄付を募る
- リユースforきつず by PCの改善
 - ◆ 地域限定での個人向け不要PC回収
 - ◆ 協賛企業の規模が大きく回収PCの品質が高い先を増やす

- ・ **事務局の固定費を低減・賄う仕組みをつくる**

- **業務プロセスを標準化・簡素化し、事務局運営費を削減する**

- **行政からの運営委託費をもらう**

- ◆ 地域連携モデルを構築した後、リユース普及や地域活性化の取り組みを行政が推進していくための事務局運営を担う

アジェンダ

取り組み内容

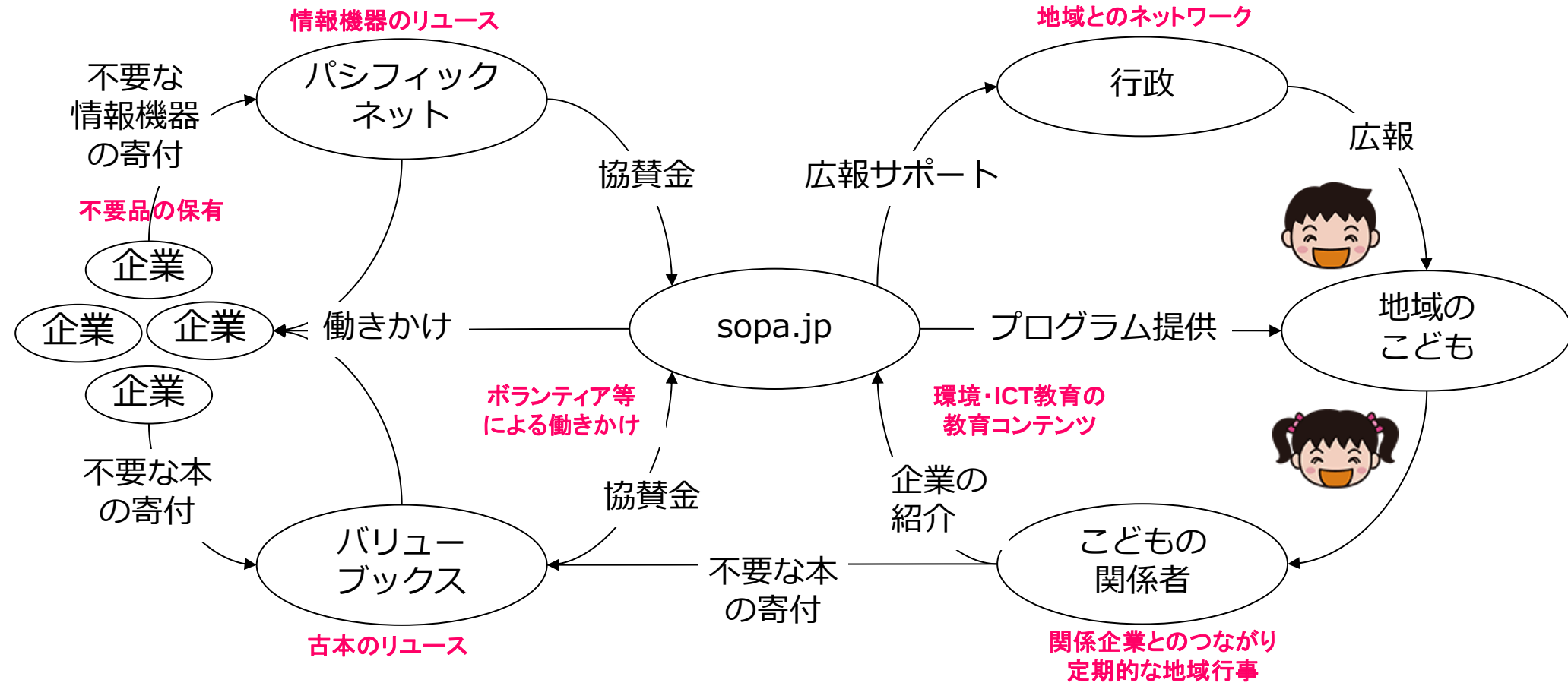
活動実績

課題

今後の展開案

リユースforきっずの地域連携モデル

リユース企業とsopa.jpで連携し一般企業のリユースを促進しその一部を寄付してもらいます。そして、行政に広報をお願いしながら地域のこどもたちへ教育プログラムを贈ります。更に、おとなも巻き込み地域に活動を広げていきます。



リユースforきっずの仕組みを地域単位で導入

ステークホルダーのメリットと関わり方

各ステークホルダーが関わるメリットと現業の延長線上で取り組める仕組みを整えています。

リユース 企業

メリット

収益化の鍵をにぎる仕入れの安定化

関わり方

営業活動の一環として関わり、仕入に応じた協賛金をだす

協賛企業

メリット

不要なPCの廃棄コストを削減し、更に、CSR活動もできる

関わり方

実質的な手間は、社内調整と打ち合わせ程度

地域の こども

メリット

環境学習やICT教育を、楽しみながら学べる

関わり方

イベントを契機に継続的に活動する。

こどもの 関係者

メリット

リユースを広めることで、プログラムを定期的開催できる

関わり方

地域行事の一貫として取り組める

行政

メリット

リユース活動の普及と地域コミュニティの活性化が図れる

関わり方

活動自体が現業そのもの

sopa.jp

メリット

行政・企業・NPOのあたらしい社会貢献の形を実現

関わり方

案件ごとの企業フォローと、プログラムの実施・報告

持続可能な取り組みを実現するための収益モデル

持続的な取り組みのためには、唯一の固定費である事務局費用を低減しつつ、案件当たりの協賛金を確保し、実施案件を着実に増やしていくことが必要

事業特性

回収サイクルが長く案件発生頻度が少ない

収益モデル

持続可能な取り組み実現のためには費用の変動費化が必要不可欠

実施
案件数

40
[件/年]

右記から、
逆算した必
要案件数

案件当たり
協賛金

7万
[円/件]

リユース企
業からの協
賛金

変動費

プログラム
実施原価

3.5万
[円/件]

講師代と
コーディネ
イト関連費

固定費

広報費

ゼロ
[円/年間]

行政連携の
ため無償で
広報が可能

固定費

企業対応

ゼロ
[円/年間]

PCネットさ
ん、sopa.jp
の本業を通
じた社会貢
献

固定費

その他
事務局費

140万
[円/年間]

ステークホ
ルダーとの
関係構築と
会計・事業
報告

持続可能な取り組みを実現するための収益モデル：リユース企業

PCの場合もほんの場合も協業するリユース企業にとっても持続可能な協業スキームを構築している

by PC

回収台数ごとに協賛金とタブレットを提供するモデル

回収台数 50台



平均粗利

リサイクル: 1000~1500円
リユース : 6000~7500円

タブレット

2台

協賛金

7万円

協賛金の原資

提供頂くもの

by BOOK

本来、顧客に支払う買取価格を全額協賛金として提供するモデル

回収冊数 5000冊



買取額
無償分

20-30円

協賛金

10-15万円

項目			収支		ステークホルダーの関わり方		
売上			PC	7万円/案件	変動費	パシフィックネット	・ PC50台寄付ごとに協賛金(7万円)と、タブレット2台を頂きプログラムを実施
			本			バリューボックス	・ 買取金額分の協賛金を頂く
コスト	原価	講師料	2万円/案件	変動費	sopa.jp	・ プログラムごとの講師料 (当日ファシリと報告業務まで)	
		コーディネイト	1.5万円/案件		sopa.jp	・ 行政・企業・支援先・講師との調整業務 ・ コーディネイトに伴う交通費・印刷費など	
	販管費	イベント広報費	0円	ゼロ	行政	・ 学校や公報でのイベント告知	
		企業対応			パシフィックネット	・ 本業の一環として活動	
		事務局費用	140万円/年	固定費	sopa.jp	・ CSV支援事業とあわせて活動 ・ 有志による案件紹介の促進	
						・ 行政（環境や教育関連の部署）との関係構築 ・ 支援先の審査・登録業務 ・ 事業全体の事業管理 ・ 会計業務や事業報告	

‘16年にリユースforきつずの地域連携モデルを構築し’17年に定着、’18年に横展開を図る。同時に、企業への継続的な関係構築で不要PCのリユースを促進

	2016年	2017年	2018年
展開案	- 企業への継続的な関係構築 - 地域連携モデルトライアル	- 企業への継続的な関係構築 - 地域連携モデル定着 - 支援先のリユース活動普及	- 企業への継続的な関係構築 - 地域連携モデルの横展開 - 支援先のリユース対象品拡張の検討
SROI	- プログラム提供人数 ✓ 実施数：5件 ✓ 開催人数：100人 - リユース及び寄付件数 ✓ PC：1,000台のうち、120台を寄付 ✓ 本：25人500冊	- プログラム提供人数 ✓ 実施数：12件 ✓ 開催人数：240人 - リユース及び寄付件数 ✓ PC：10,000台のうち、330台を寄付 ✓ 本：100人3,000冊	- プログラム提供人数 ✓ 実施数：25件 ✓ 開催人数：500人 - リユース及び寄付件数 ✓ PC：20,000台のうち、600台を寄付 ✓ 本：500人15,000冊
KPI	- 協賛企業のリピート率：なし - 協賛企業のby BOOK実施 ✓ キャンペーン開催率：50% - 支援先タブレット活用率：90% - 支援先のby BOOK実施 ✓ キャンペーン開催率：80%	- 協賛企業のリピート率：50% - 協賛企業のby BOOK実施 ✓ キャンペーン開催率：50% - 支援先タブレット活用率：90% - 支援先のby BOOK実施 ✓ キャンペーン開催率：80%	- 協賛企業のリピート率：80% - 協賛企業のby BOOK実施 ✓ キャンペーン開催率：50% - 支援先タブレット活用率：90% - 支援先のby BOOK実施 ✓ キャンペーン開催率：80%